

2014年3月期決算補足資料

2014年5月14日



GIGAPRIZE

<http://www.gigaprise.co.jp/>

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。また、本資料は、当社の事業戦略、決算補足の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



1. 2014年3月期業績概要

2014年3月 通期連結業績概要【PL】

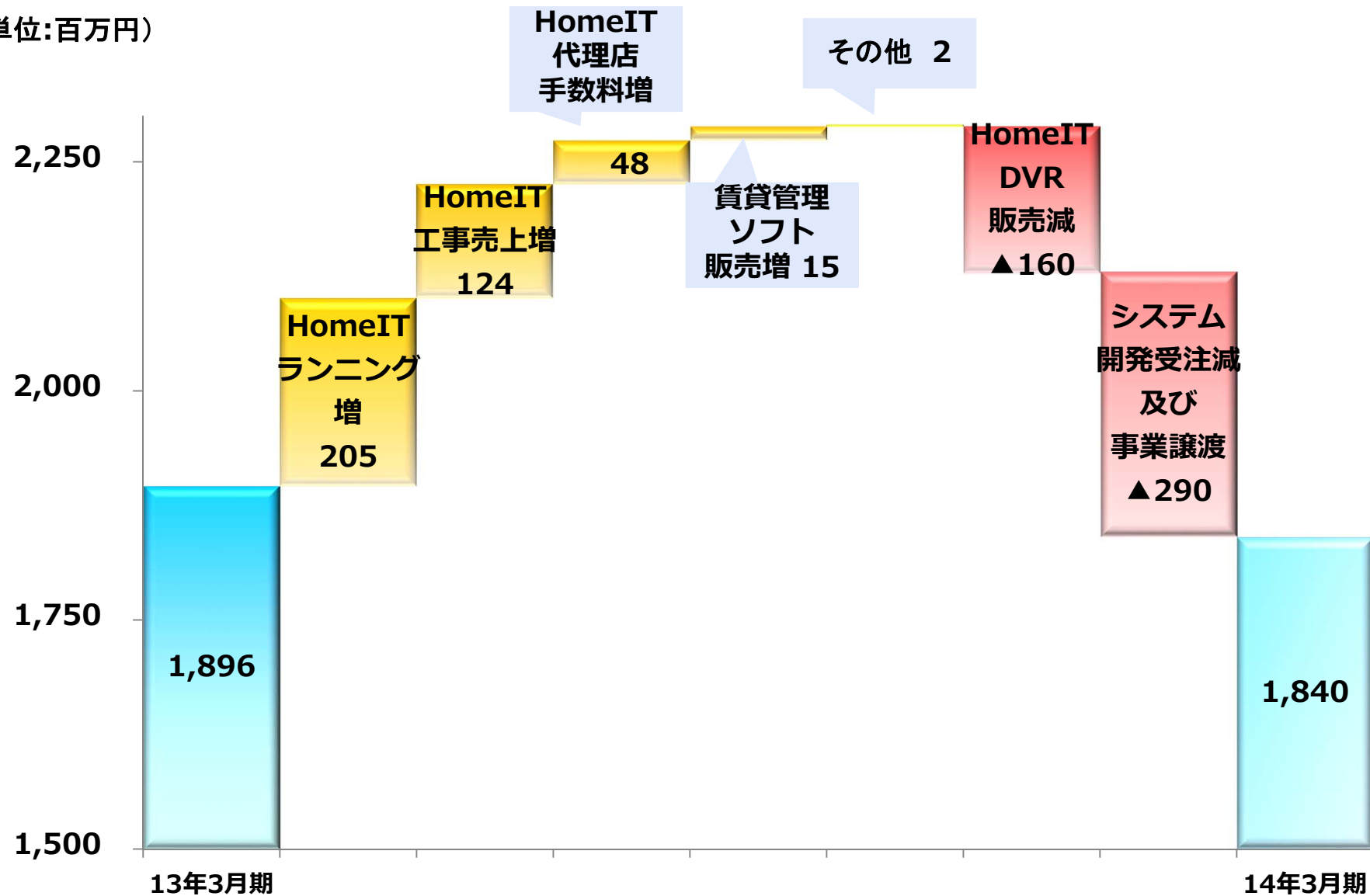
単位：百万円	2014年3月期 通期実績	2013年3月期 通期実績	対前期増減額	対前期増減率
売上高	1,840	1,896	△56	△3.0%
営業利益	148	64	83	131.0%
経常利益	146	61	85	136.8%
純利益	88	18	70	378.3%

集中と選択により、成長路線へ転換

- ◆ Home IT 事業：不動産管理会社等との提携と体制強化等が好循環で継続し、分譲・賃貸マンション向ISPともに契約戸数を伸ばし、**売上高が前期比3.0%減の1,840百万円、セグメント利益は150百万円と順調に推移。【2013年3月末比 課金戸数 21,274 戸増／過去最大の純増数】**
- ◆ 将来への布石：利益を出しつつ、更なるサービス戸数増とARPU向上を目指すべく、顧客満足度向上に向けた投資の継続（提携・体制強化のほか、回線品質向上、サービスメニュー強化等）
- ◆ 上半期実行の集中と選択により、継続収入を主とする**安定的な経営基盤作り**
 - 1) 7月1日付でシステム開発事業の事業譲渡を実施し、同事業の損益悪化の影響消失
 - 2) 8月14日付で赤字かつ将来性が不透明であった子会社アイ・シンクレント(株)の保有株式全部売却
 - 3) 継続収入案件を重点化するとともに、更なる健全化のため取引先与信、売掛債権をより厳格化

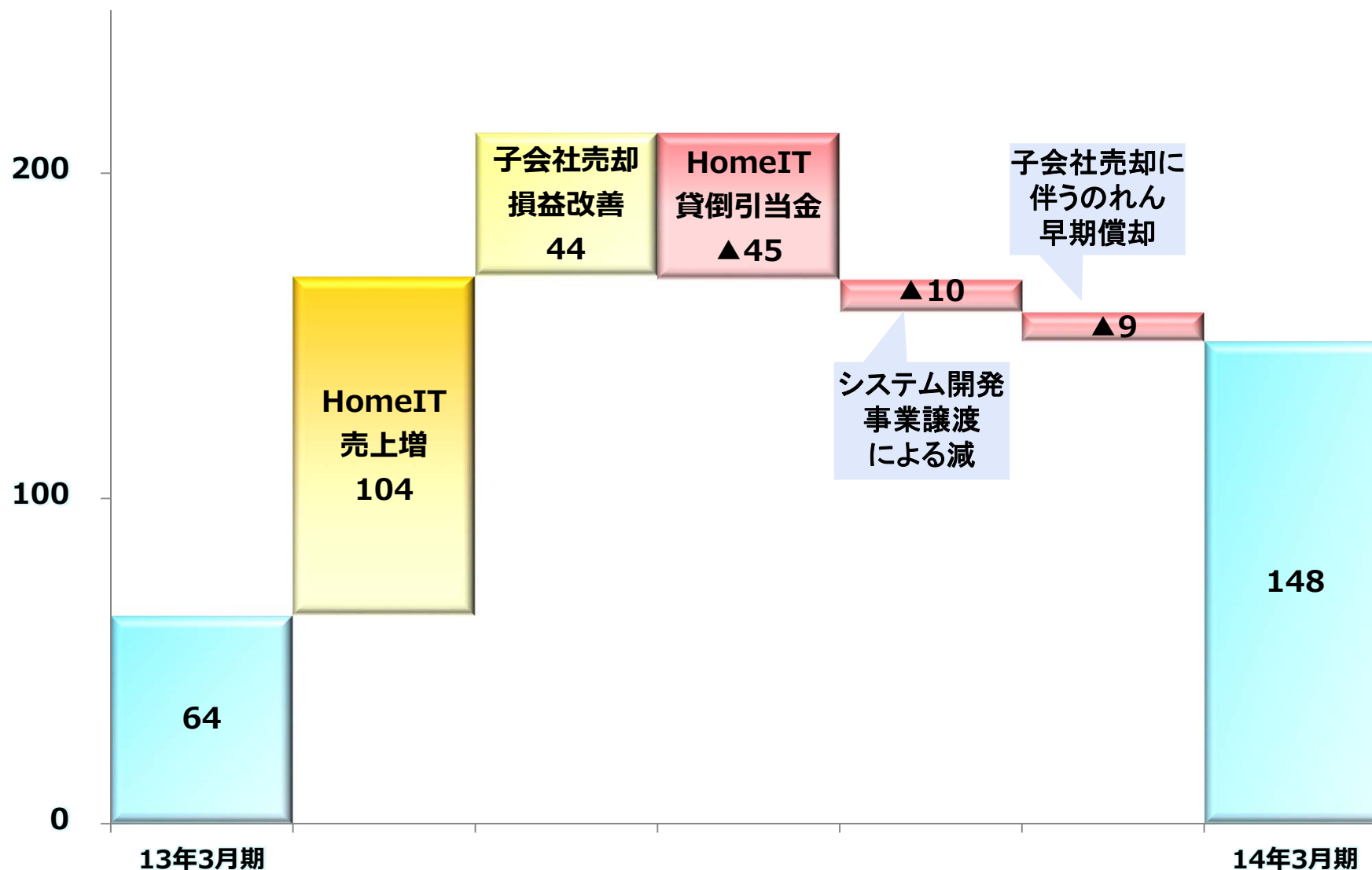
2014年3月期 売上高前期比較

(単位:百万円)



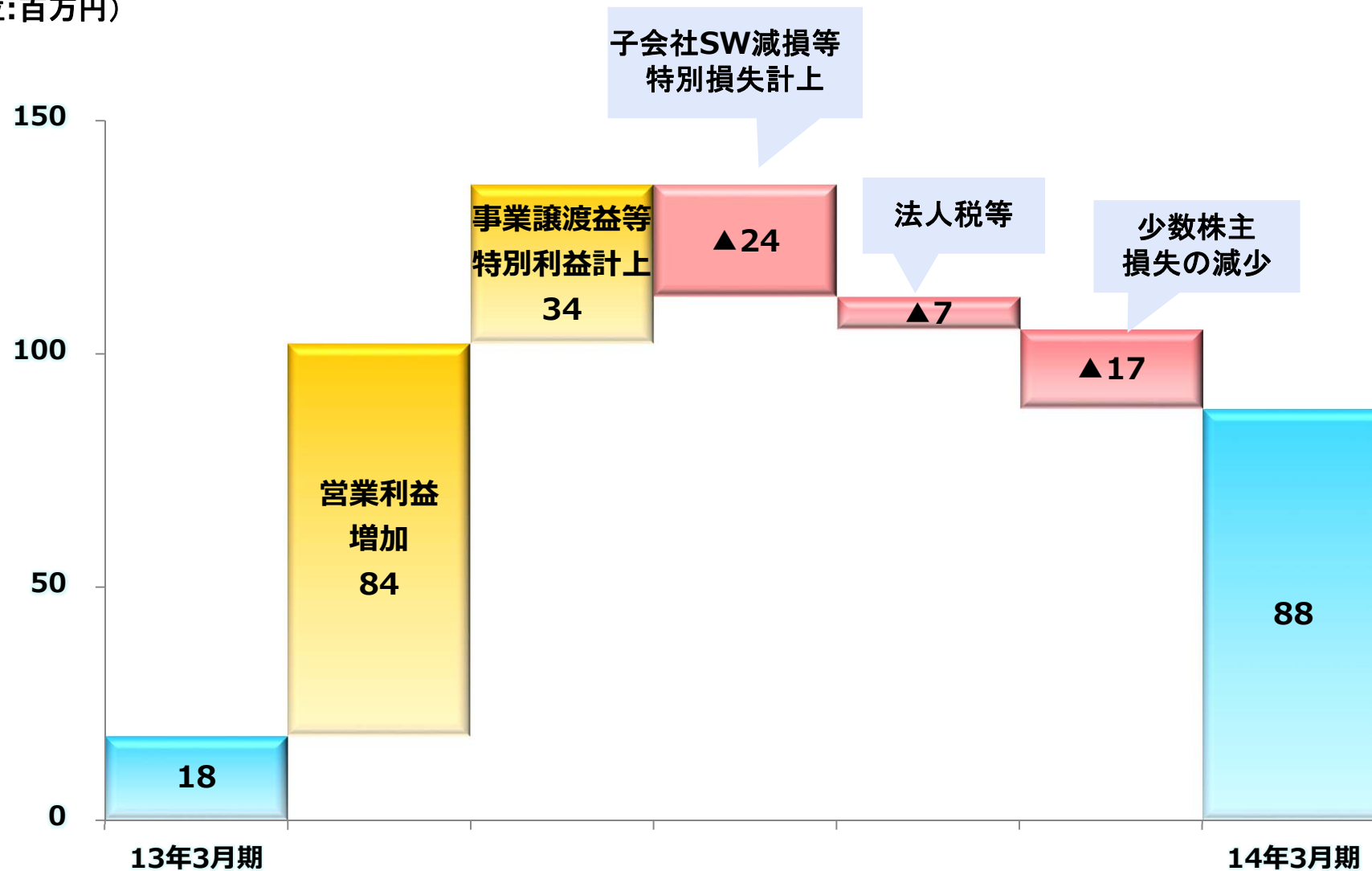
2014年3月期 営業利益前期比較

(単位:百万円)



2014年3月期 当期純利益前期比較

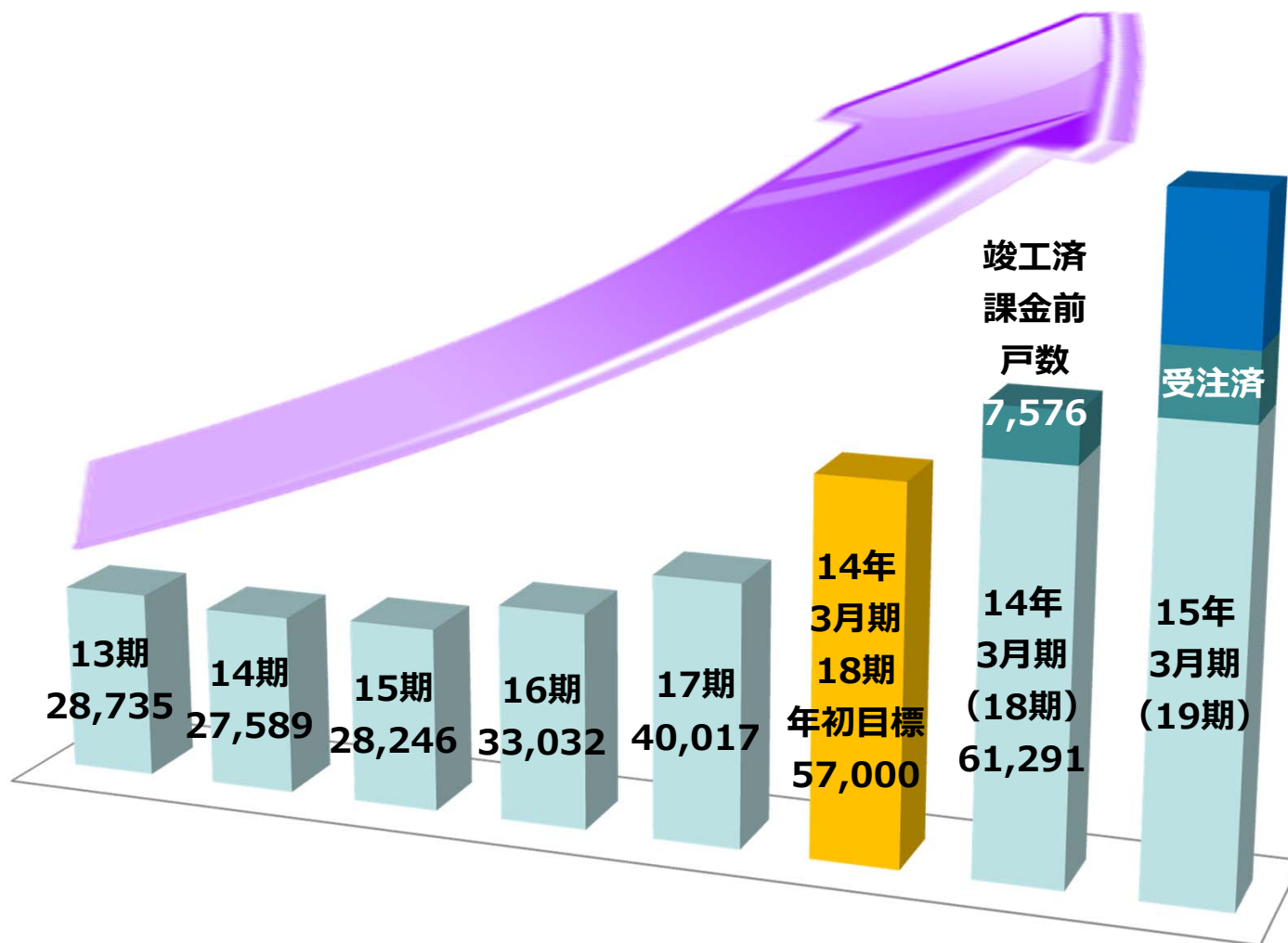
(単位:百万円)





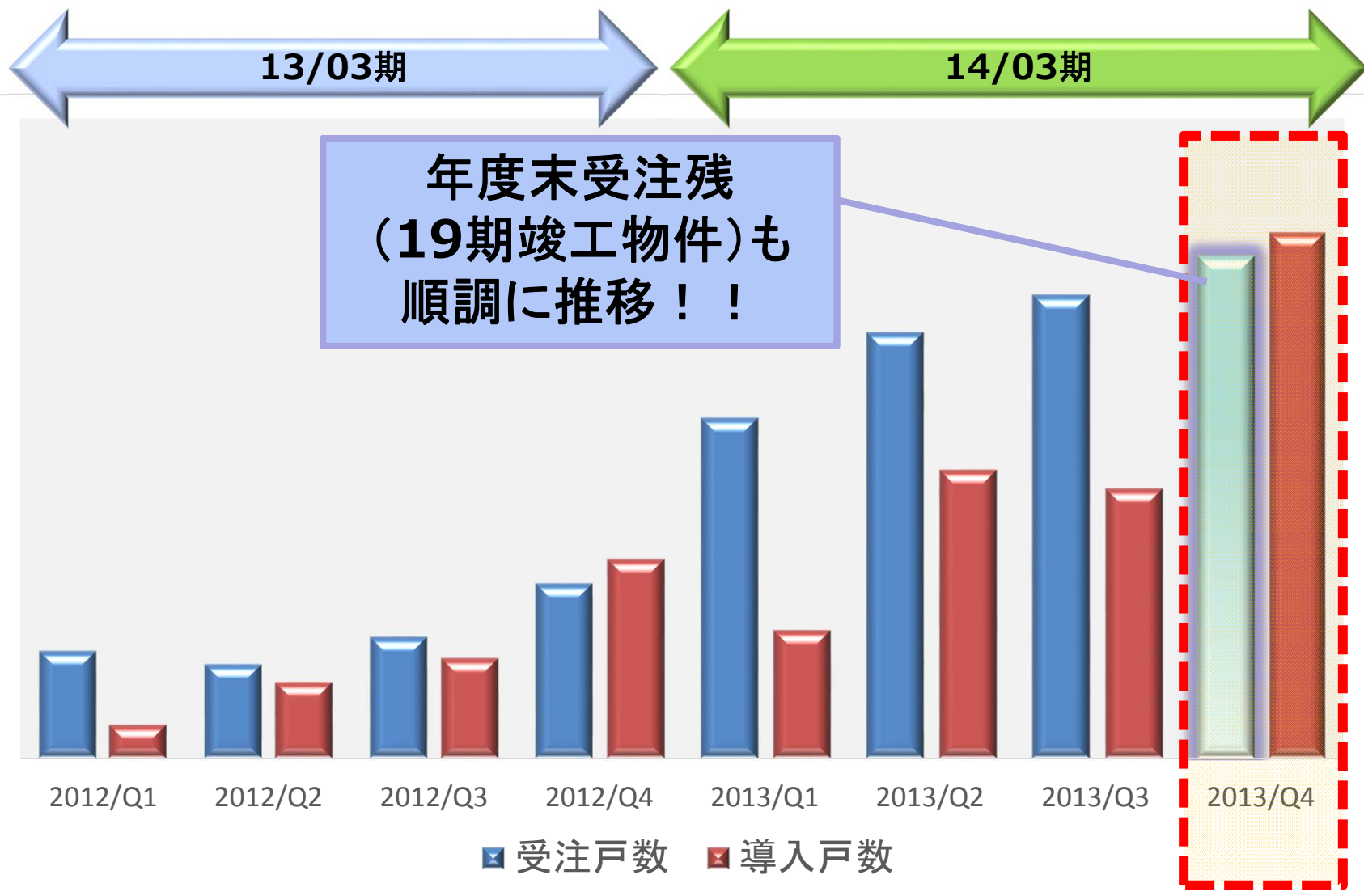
2. 事業進捗状況

集合住宅向けISP導入実績



年初目標5万7千戸を大幅超過し、年間純増数21,274戸(53%増)に到達
合計61,291戸達成。2年間でサービス(ストック)戸数 倍増！！

マンション向けISPの受注戸数/竣工戸数推移





3. 事業方針 / 2015年3月期 通期連結業績予想

事業方針:ドメイン・方向性

～不動産業界向け総合ITソリューション企業を目指す～

FREEBITグループ(最先端のインターネット・Web 技術、競争力大なNW インフラ)



GIGAPRIZEグループ

GIGA PRIZE

株式会社 **ESP**

ターゲット市場

- ◆ 6年ぶり高水準の住宅着工数(全国で10万戸突破(2013年))



不動産管理会社へのネットワーク拡大
GP/集合住宅向ISP営業組織の拡大と
ESPビジネス拡大、グループシナジー強化



サ



サ

営業生産性の向上と契約継続率/顧客満足度を高めるために
コスト競争力を維持しながら、独自の付加価値を追加開発
することにリソース確保し、シェアの拡大を目指す

新たな価値創造

住まいを核とする様々なサービスの共通基盤を創出することで
新たな価値を生み出します。

『より良い暮らしの実現』 『地域経済の連携促進・活性化』

住まい



生活支援

- コミュニティサービス
- お買い物代行
- タクシー手配
- 家事支援



スマートハウス

- ホームオートメーション
- 情報家電
- スマートグリッド
- HEMS
- 未来住宅

- 防犯/セキュリティ
- 地域情報/連携ポータル
- お知らせ配信
- コンテンツ配信
- 動画配信



医療

- 訪問医療/歯科
- 薬調剤/配達/管理
- 地域医療連携
- 健康管理



介護

- 訪問介護・安否確認
- デイサービス・配食
- 緊急駆け付け・生活相談



インターネット+居住空間

新たなプラットフォームの創出

新たな
価値の創造



2015年3月期 通期連結業績見通し

単位:百万円		2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増減率
売上高		1,840	2,147	16.7%
	HomeIT事業	1,750	2,119	21.0%
	システム開発事業	58	—	—
	その他	31	27	△11.8%
営業利益		148	265	78.1%
経常利益		146	262	78.7%
純利益		88	155	75.3%

- 集合住宅向ISPサービスは昨年度以上のサービス戸数純増を目指す為に、引き続き、顧客殿との良好な関係継続を図ると共に、更なる新規顧客開拓を目指す。また、更なるARPU向上に向けた生活を豊かにするためのサービスメニュー開発を継続(NWビジネスの知見活用)
- 継続成長をより確実にするために社内体制の強化、賃貸管理システムビジネス強化、名古屋営業所開設・外部提携強化による拠点整備並びに 弛まないサービスレベル向上による顧客満足度向上施策を継続